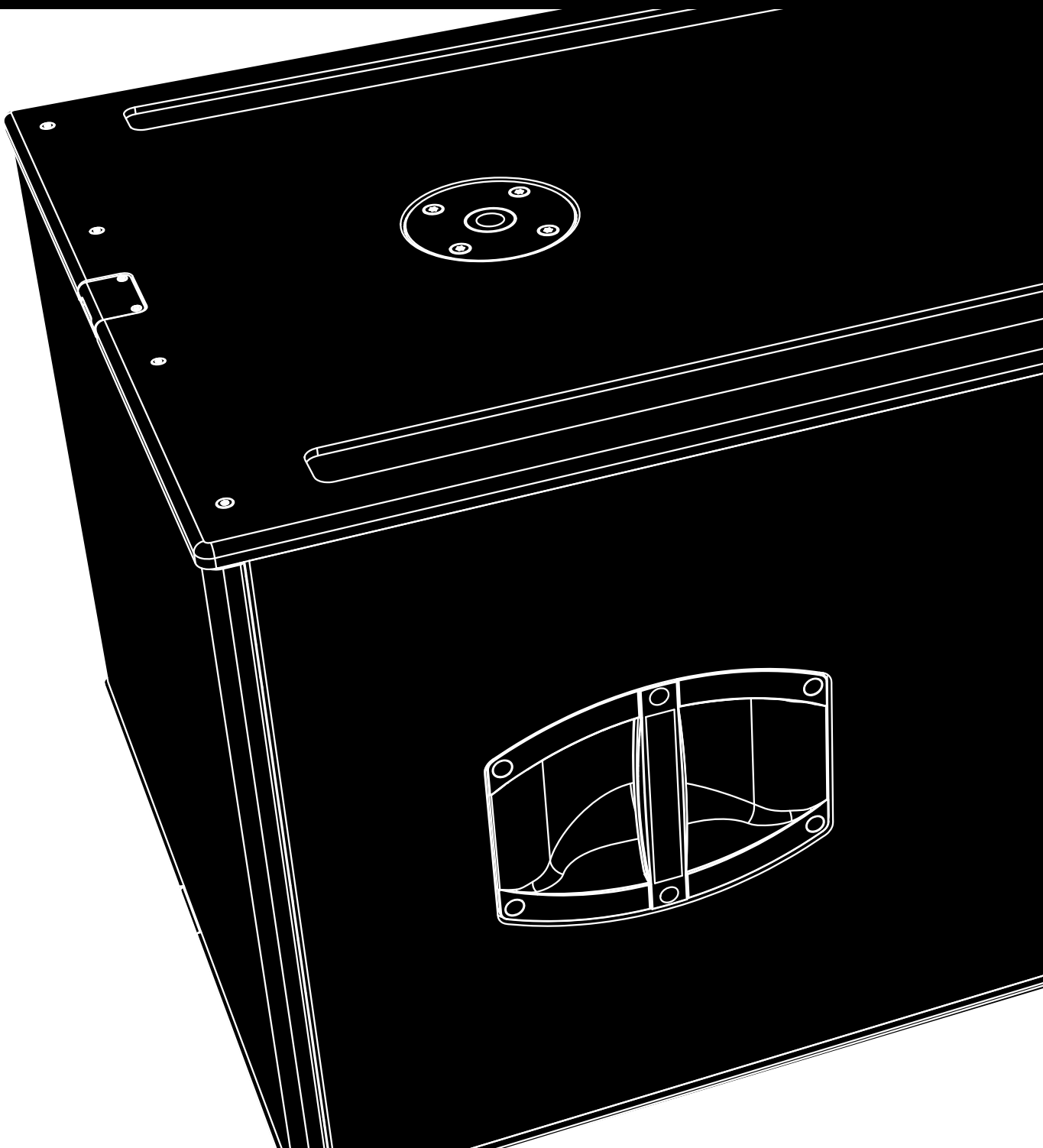


B

B6-SUB
マニュアル 1.2 ja



概説

B6-SUB マニュアル

バージョン 1.2 ja, 04/2016, D2716.JP .01

Copyright © 2016 by d&b audiotechnik GmbH; all rights reserved.

本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b 製品を販売される時は、お客様に対して本マニュアルを使用前に十分読んでおくことを喚起してください。必要なマニュアルは製品に同梱されています。もし追加のマニュアルが必要な場合には、d&b に注文してください。

d&b audiotechnik GmbH
Eugen-Adolf-Strasse 134, D-71522 Backnang, Germany
T +49-7191-9669-0, F +49-7191-95 00 00
docadmin@dbaudio.com, www.dbaudio.com

目次

1. 安全上の注意	4
1.1. ラウドスピーカーを使用する際の注意点.....	4
2. B6-SUB loudspeaker	5
2.1. 製品説明.....	5
2.2. 接続.....	5
2.3. 使用.....	6
2.3.1. コントローラーの設定.....	6
2.4. 技術仕様.....	8
3. 製造者宣言	9
3.1. ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについ て)	9
3.1.1. WEEE 宣言 (廃棄について)	9

1.1. ラウドスピーカーを使用する際の注意点

人体に傷害をもたらす可能性があります。

大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルまで到達する性能を持っています。危険でないと思われる音量(約 95 dB SPL 以下)であっても、長時間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

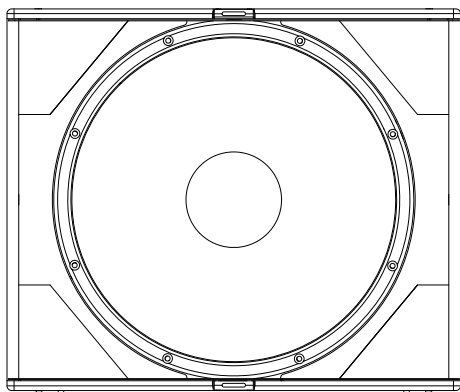
ラウドスピーカーを地面に積んだり、吊り下げたりする作業を行う時の事項に注意してください。

- ラウドスピーカーをスタックしたりスピーカースタンドを設置する時は必ず硬い床面上に設置してください。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。
- 仮設置やスピーカーの構成設置に使用するアクセサリは d&b が試験、認証している物のみを使用します。特に弊社アクセサリに関連する機種に対応した「使用説明書」や「フライング、リギングマニュアル」に記載されているアクセサリの正しい使用方法と最大荷重量に注意してください。
- 固定設備や可動設置使用で d&b 以外の付加的なハードウェアを使用して固定、結束等を行う場合には、全ての該当品が適切なサイズか、安全荷重係数を満たしているかを確認してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。
- ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。
- 機器の荷重を支持するボルトは定期的に点検を行ってください。

機器の故障を引き起こす恐れがあります。

ラウドスピーカーは使用していない時でも静的電磁場を常に発生します。従って、これらを設置したり、運搬したりする時にはこの磁場によって、損傷や障害を生じる恐れのあるものが機器の近くに無いことを確認してください。一般的には磁気データ媒体(フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど)から 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。

2. B6-SUB loudspeaker

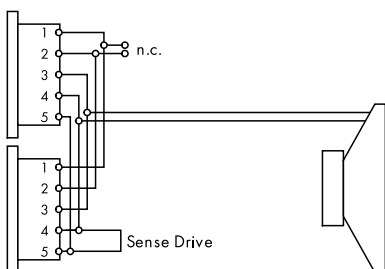
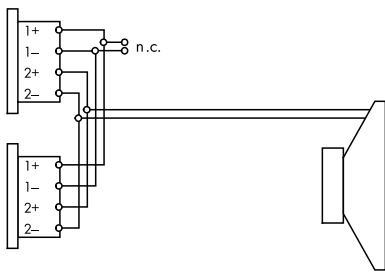


2.1. 製品説明

B6-SUB は、アクティブ駆動によるコンパクトで高性能なサブウーファーです。

高偏位 18 インチフェライトマグネットドライバーがバスレックス設計のキャビネットに搭載されています。周波数特性は 37 Hz から 140 Hz です。

キャビネットは船舶用合板製で、耐衝撃・耐天候塗装仕上げが施されており、ハンドル 2 個が取り付けられています。ラウドスピーカーキャビネットの前面は、音響透過性のある発泡フォームを裏側に貼りつけた頑丈なメタルグリルで保護されています。両側のパネルには 1 個のハンドルが、背面パネルには 4 個の重量キャスターが取り付けられています。上面パネルの M20 フランジネジ穴には、トップキャビネット配置用としてラウドスピーカースタンドを取り付けることができます。底面パネルに 2 箇所あるランナーは、キャビネットが動いたり、底面が傷いたりすることを防止します。キャビネットのトップパネルに窪みを付け、B6-SUB のスタッキング時におけるキャビネットの移動を防いでいます。



NLT4 F/M/NL4 M および EP5 コネクターの接続

2.2. 接続

キャビネットには一対の NLT4 F/M コネクターが取り付けられています。双方のコネクターの全 4 本のピンは並列に接続されています。B6-SUB は 2+/2- のピン配列を使用します。1+/1- ピンは TOP キャビネット用です。オス型コネクターをインプットとして使用すれば、メス型コネクターと第 2 キャビネットを直接接続することができます。

同キャビネットは、オプションで NL4 M または EP5 コネクターを選択することも可能です。

コネクターオプションのピン配列は下の表に示しています。

NLT4 F/M NL4 M	1+	1-	2+	2-	なし
EP5	1	2	3	4	5 (SenseDrive)

d&b SenseDrive

D12 アンプ内の SenseDrive は、使用中にあるラウドスピーカーケーブルの特性に応じた電気補償を可能としています。SenseDrive には、センスワイヤーを追加する必要があります。このため、ラウドスピーカー用 SenseDrive には必ず EP5 コネクターおよび 5 ワイヤケーブルを装備することが必要です。

メモ: D12 を "Mix TOP/SUB モード" でご使用になる場合には、SenseDrive 機能は出力 B コネクターでのみ使用できます。

d&b LoadMatch

LoadMatch 機能によって、D80 アンプをはじめとする各アンプ上における使用中のラウドスピーカーケーブルの特性に応じた電気補償が、センスワイヤーを追加しなくても可能となります。このため、使用中のコネクタータイプに関係なくラウドスピーカー用として LoadMatch を使用することができます。

2.3. 使用

注意!

d&b ラウドスピーカーは、正しく設定された d&b アンプのみをご使用ください。他の使用法ではラウドスピーカーのコンポーネントに損傷を与える恐れがあります。

使用可能な d&b アンプ:

D80/D20/D12/D6/10D/30D.

用途	設定	チャンネル/キャビネット
B6-SUB Standard	B6-SUB	2
B6-SUB INFRA	B6-INF (D80/D20/30D)	2

設定が可能な d&b アンプでは、Dual Channel または Mix TOP/SUB モードのコントローラーセットアップが適切です。

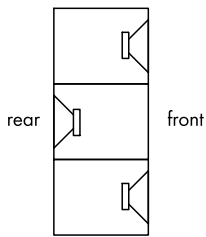
2.3.1. コントローラーの設定

標準のコントローラー設定では、100 Hz と CSA 機能が選択できます。

100 Hz 回路

100 Hz 回路が選択されている場合には、システムの動作周波数の上限が 140 Hz から 110 Hz に減少されます。

この設定は、アクティブ駆動の B6-SUB サブウーファーを例えば分散型サウンドシステムなど、フルレンジモードで動作している TOP キャビネットと組み合わせる場合に使用します。100 Hz モードは他にも、CUT モードで動作している B6-SUB と TOP キャビネット間が密接している場合の、カップリングによる影響を補正する場合などにも使用することができます。



CSA スタック(例)

CSA 回路

CSA (Cardioid Subwoofer Array) モードによって、3 つのサブウーファーキャビネットのうち 3 つまたは 3 の倍数単位のキャビネットをアレイに組み合わせ、優れた低周波指向コントロールを作ることができます。

物理的にリア方向に向けられたアレイの中央サブウーファー用アンプチャンネルは CSA を選択します。前方を向いたキャビネットを駆動するアンプチャンネルは標準モードに設定します。その結果、アレイ上に生じるカーディオイド特性によって、リア方向へのエネルギー放出が大幅に削減されます。

より詳細な情報は、弊社ウェブサイト www.dbaudio.com から「d&b T1 330 Cardioid Subwoofer Array」がダウンロードできます。

B6-INF セットアップ

B6-INF が選択されている場合には、システムの動作周波数の上限が 80 Hz に減少します。これによって B6-SUB をフルレンジモードの d&b ラウドスピーカーシステムの補完用に使用することができます。

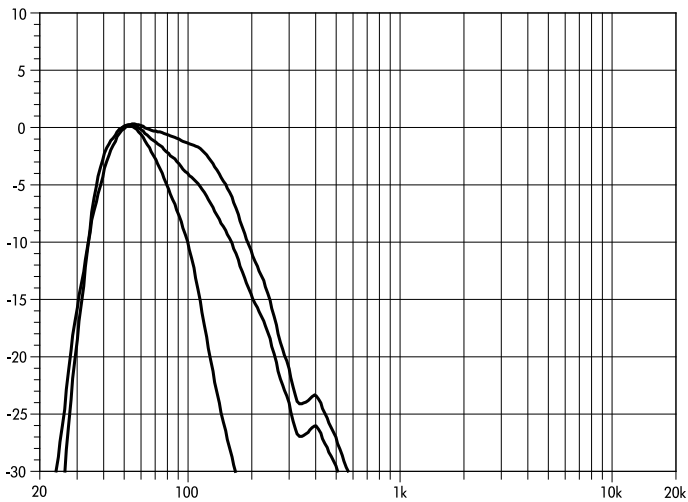
2.4. 技術仕様

B6-SUB システムデータ

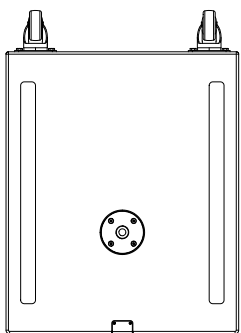
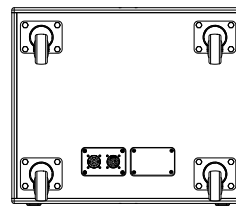
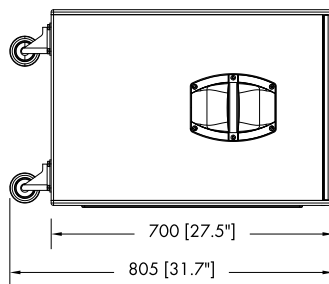
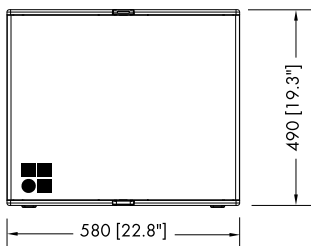
周波数特性 (-5 dB スタンダード)	37 Hz - 140 Hz
周波数特性 (-5 dB 100 Hz モード)	37 Hz - 110 Hz
周波数特性 (-5 dB INFRA モード)	35 Hz - 80 Hz
最大音圧レベル(1 m、無響音場)	
および D6/10D	128 dB
D12/D20/30D	131 dB
D80	134 dB
	(最大 SPL ピーク、テスト信号 CF4 のピンクノイズ)

B6-SUB ラウドスピーカー

公称インピーダンス	8 Ω
許容入力 (RMS/ピーク 10 ms)	500/2000 W
コンポーネント	1 x 18 インチドライバー
接続	2 x NLT4 F/M
	2 x NL4 M または EP5 (オプション)
ピン配列	NLT4 F/M および NL4 M:2+ / 2-
	EP5:3: + / 4: -
重量	41 kg (90 lb)



B6-SUB 周波数特性 標準、100 Hz、INFRA モード



B6-SUB キャビネット寸法 mm [インチ]



3.1. ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)

この宣言は、以下の製品に適用されます。

d&b B6-SUB ラウドスピーカー、Z0710

製造者 d&b audiotechnik GmbH.

この番号で始まる製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気技術的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイトを www.dbaudio.com からダウンロードすることもできます。

3.1.1. WEEE 宣言 (廃棄について)

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。

本機器を廃棄する時には、お住まいの国の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。



